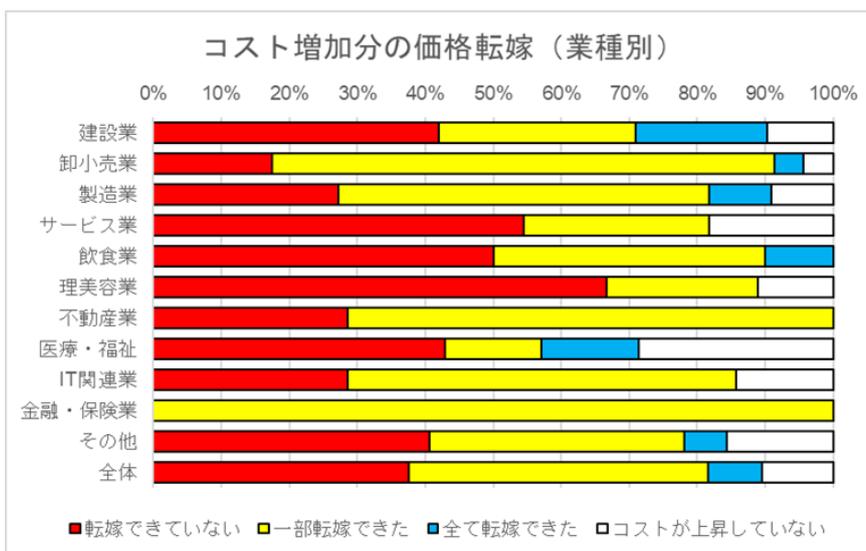
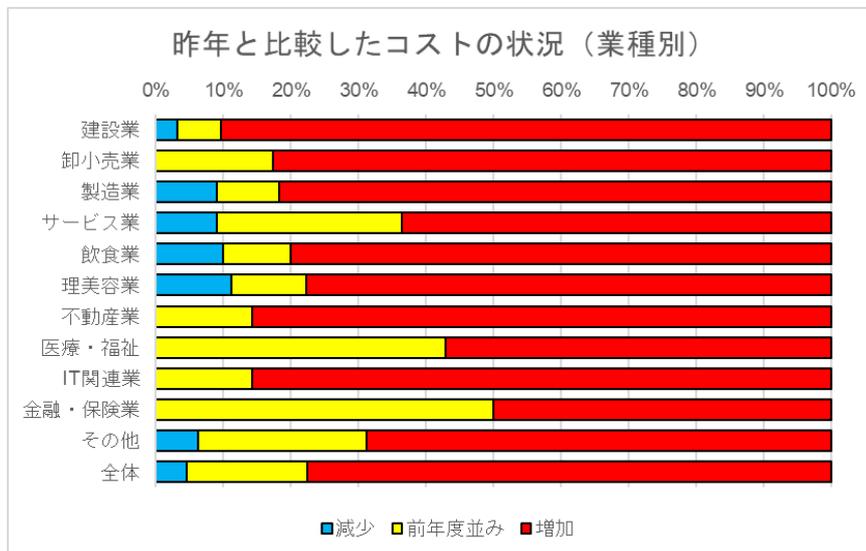


## 2. 市内事業者アンケート結果

- ・全ての業種でコストが増加したとする事業者の割合が 50%以上と多いが、コスト増加分の価格転嫁の状況は業種による差異が大きい。
- ・価格転嫁ができていない事業者の割合は、「卸小売業」、「製造業」では小さく、「サービス業」、「飲食業」、「理美容業」では大きい。
- ・人材の過不足の状況は業種による差異が大きいですが、全体の 50%が「不足」としており、「過剰」とする事業者は全ての業種で少ない。
- ・「建設業」、「飲食業」、「不動産業」、「IT 関連業」では、人材が「不足」としている事業者が 60%を超えている。
- ・人材不足に対する取り組みでは、「正社員の採用」が最も多く、社員の能力開発、業務プロセスの見直し、IT 化等の設備投資等の生産性向上への取組や、有期雇用者の採用、定年延長・高齢者の活用等が実施されている。
- ・賃金引上げの状況は業種間での差異が大きいですが、「引上げを行った」事業者が全体の 50%を超えている。
- ・「建設業」、「卸小売業」、「不動産業」、「IT 関連業」では「引き上げを行った」事業者が多く、「製造業」、「サービス業」、「飲食業」では少ない。
- ・賃金の引き上げをしない理由としては、「業績見通しが不透明」が最も多く、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」も多い。
- ・IT ツールの活用は全体の 50%の事業者が「活用できている」としているが、業種による差異が大きく、「製造業」、「飲食業」、「理美容業」では少ない。
- ・IT ツールの活用上での課題としては、「コストの負担が大きい」が最も多く、「運用・推進の人材がない」、「導入効果が把握できない」等の課題がある。

## 2.1 売上とコストの状況（市内事業者アンケート問3）

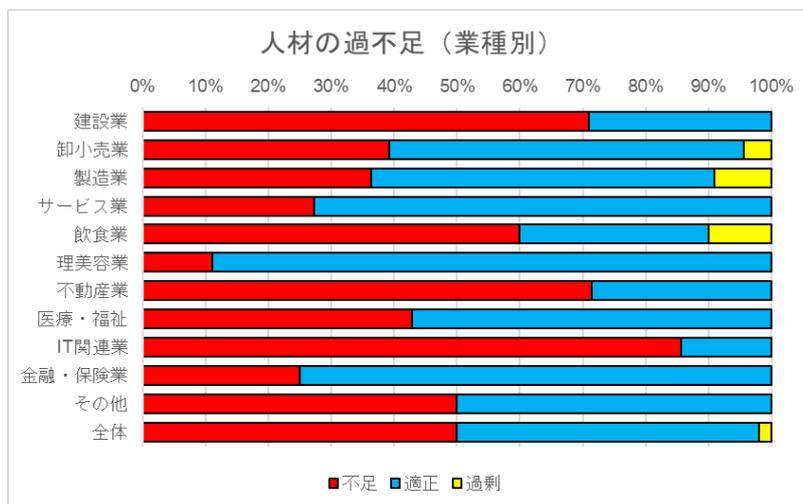
図表 2-1 昨年と比較したコストの状況とコスト増加分の価格転嫁



- ・すべての業種でコストが増加したとする事業者の割合が50%以上と多い。
- ・コスト増加分の価格転嫁の状況は業種による差異が大きいが、全体の40%近い事業者が「価格転嫁できていない」としている。
- ・「卸小売業」、「製造業」では「価格転嫁できていない」事業者の割合は30%以下である。
- ・「サービス業」、「飲食業」、「理美容業」では「価格転嫁できていない」事業者の割合が50%以上である。

## 2.2 人材不足（市内事業者アンケート問 6～9）

図表 2-2(a) 人材の過不足の状況



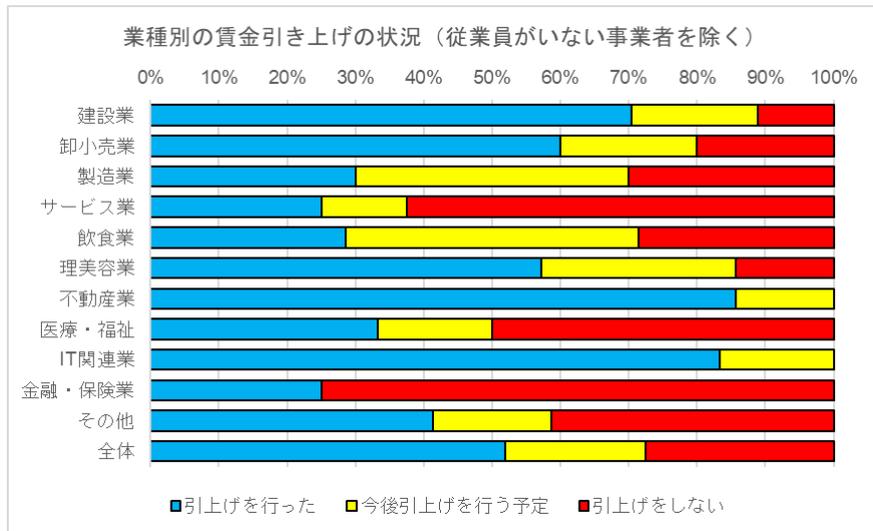
図表 2-2(b) 人材不足への対応

人材不足に対し取り組んでいる事	件数(複数選択)
正社員の採用	53
社員の能力開発による生産性向上	35
パートタイマーなど有期雇用社員の採用	32
業務プロセスの見直しによる業務効率化	32
IT化等設備投資による生産性向上	20
時間外労働による対応	16
副業・兼業人材など外部人材の活用	14
定年の延長・高齢者の活用	11
規模の縮小、拠点の整理・統合	1

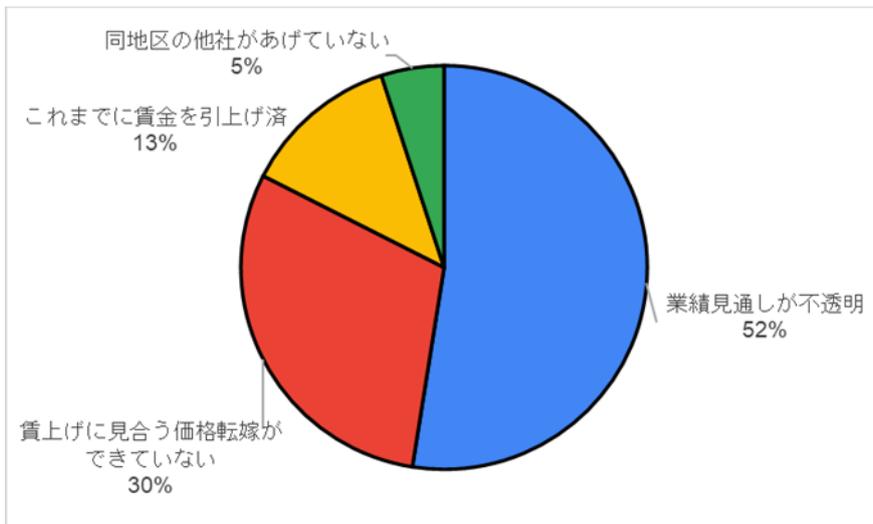
(2023年のアンケート調査)

- ・人材の過不足の状況は業種による差異が大きいですが、全体の 50%が「不足」としている。
- ・「建設業」、「飲食業」、「不動産業」、「IT 関連業」では、人材が「不足」とする事業者が 60%以上と多い。
- ・「サービス業」、「理美容業」、「金融・保険業」では、人材が「不足」とする事業者が 30%以下と比較的少ない。
- ・人材が「過剰」とする事業者は全ての業種で少ない。
- ・人材不足に対する取組としては、「正社員の採用」が最も多く、社員の能力開発、業務プロセスの見直し、IT化等の設備投資などの生産性向上への取組や、有期雇用者の採用、定年延長・高齢者の活用等の人材拡大に向けての取組が実施されている。

図表 2-2(c) 賃金引き上げの状況



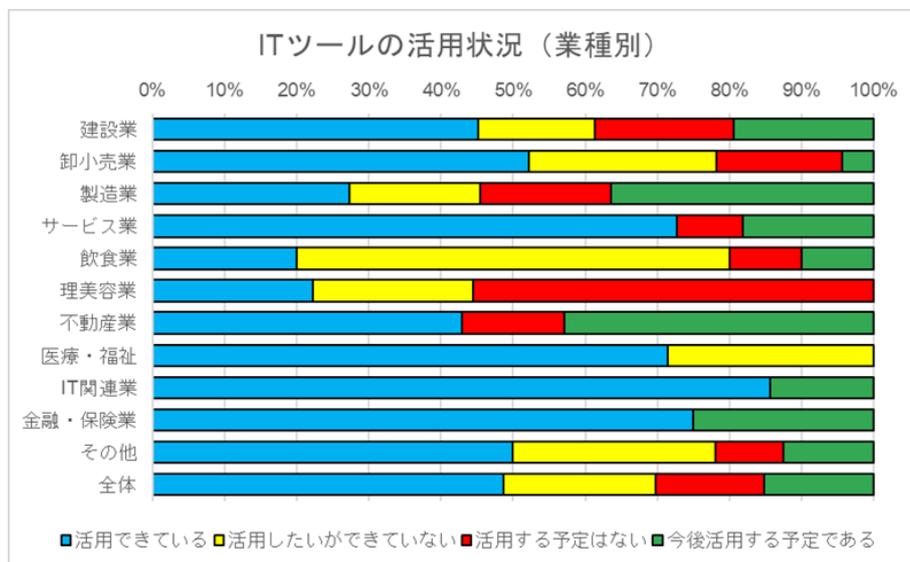
図表 2-2(d) 賃金引き上げをしない理由



- ・賃金引き上げの状況は業種間での差異が大きいものの、「引き上げを行った」事業者が全体の50%を超えている。
- ・「建設業」、「卸小売業」、「不動産業」、「IT 関連業」では「引き上げを行った」事業者が、60%を超えている。
- ・「製造業」、「サービス業」、「飲食業」では「引き上げを行った」事業者は30%以下である。
- ・賃金の引き上げをしない理由としては、「業績見通しが不透明」が50%を超えており、「質上げに見合う価格転嫁ができていない」事業者が30%となっている。

## 2.3 IT ツール活用の状況（市内事業者アンケート問 10）

図表 2-3(a) IT ツールの活用状況



図表 2-3(b) IT ツールの活用上での課題

ITツールの活用、導入の上での課題	件数(複数選択)
コストの負担が大きい	72
運用・推進の人材がない	32
導入効果が把握できない	31
導入したITツールが使いこなせない	31
導入ツールの選定が分からない	27
課題はない	25

- ・ITツールの活用状況は、業種による差異が大きいものの、全体では「活用できている」とする事業者が50%である。
- ・「サービス業」、「医療・福祉」、「IT関連業」、「金融・保険業」では、「活用できている」とする事業者が70%を超えている。
- ・「製造業」、「飲食業」、「理美容業」では、「活用できている」とする事業者は30%以下と少ない。
- ・ITツールの活用、導入の上での課題としては、「コストの負担が大きい」が最も多く、「運用・推進の人材がない」、「導入効果が把握できない」などの課題が挙げられている。